

磐城時報

編輯兼發行所 田島 弘成
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町新屋町吉
福島縣石城郡平町新屋町吉
發行所 磐城時報社
一部金貳圓一月金五圓
廣告料一行百字一ヶ月金五十圓
▲日刊(日曜、祭日)休刊

昭和八年八月七日(月曜日)

四萬有權者に訴へて

赤坂翁の必勝を期す

各所に擧ぐる言論戦の狼火

推薦状に見る悲痛な對戦理由

あまの處僅かに數日。今や日曜に迫つた石城の縣議補選は日と共に否時と共に全郡に亘る戦線がグン／＼進められて物凄く戦雲は加速度的に其の濃厚さを増して行く。而も事實に於て斷じて醜惡なる黄白の手擲彈戰を許されず飽迄男性的な言論戦によつて終始せねばならぬ今次の選挙は殆ど未曾有とも謂ふべき理想的選挙であつて四萬有權者の總意は果してどう反映するか？教養訓練ある多數選挙民の動向こそ刮目して待つべきものがある、遮莫。老いたりと雖も壇上颯爽として滿幅の經綸抱負を縦横する候補者元代議士赤坂龜次郎翁の快辯は蓋し赤誠淋漓聴く者をして漫ろに清風腋下に生ずるの感あらしむるであらう、遊説日取り次の如くである。

町村名のみの分は小学校舎
(五日)午後二時—磐崎、泉、石住 六時—勿來劇場、川部劇場、上遠野
(六日)午後二時—草野公會堂、大野、入遠野 六時—神谷、大浦、田人
(七日)午後二時—鹿島、高久、渡邊村釜戸 六時—飯野、夏井、田部 (八日)午後二時—赤井第二江名、山田 六時—上小川、豊間、錦 (九日)午後二時—川前、好間 六時—平窪、好間 好樂館 (十日)午後二時—植田、四倉劇場(又は小学校) 六時—内郷磐城劇場、平町聚樂館(十一日)午後二時—玉川、箕輪、高野温泉、六時—小名濱公會堂、湯本三函座 (十二日)午後一時—合戸、同三時—下市觀音堂、六時—中三坂分校、平町第三校(十三日)午後二時—内郷御殿、六時—内郷綴、同村白水安生寺

無競争を理想とせる所以

井上茂作

部會幹事長 縣會議員
今回の縣會議員選挙に方り無競争を理想とせし所以は内政は政民兩黨より關係を出し所謂聯立内閣と請ふべきであり外は國際聯盟を脱退し世界經濟會議は失敗に終り今や我國は經濟的に亦國防的に獨自の國策を樹立し更生せざる可らざる秋なるを以て各政黨も國民も此處に目醒めて蝸牛角上の争ひを避けざるべからずと信ず世界の感星と稱せられた故後藤伯は政治の倫

憾とする。

推薦状

肅啓酷暑の候彌々御清適奉南賀候

陳者今回の縣會議員補欠選挙に方り我黨は元代議士赤坂龜次郎翁の立候補を懇請して其の承諾を求め飽迄必勝當選を期する事と相成候、惟ふに當今の國家非常時を根本より匡救打開して民衆の福祉を招來するには一に地方自治の整齊擴充を圖るより急なるは無しと確信致し候、我黨曩に縣會議員赤坂毅一氏を喪ふや郡南には政民を通じて一名の縣會議員を有せざる事と相成り地方民の被る不幸蓋し尠からざるもの有之候ものから我黨縣議の補欠なる見地より先づ自黨内に後繼者を求め時節柄無意味の政争を避け度念願し友黨民政黨に之が同意を求めたるも不幸容るる處とならず茲に相對峙して雌雄を決するの己む無きに逢着致し候事は此際處する友黨の態度として眞に遺憾に禁じざる次第に有之候、是於乎我黨は黨内人材中の最高峰として些か老壯その序に順はざるものあるも晩年自適の閑を妨げ翁を煩はして縣政壇上地方の爲敢て其の健闘を請ふべく舉黨一致以て牢乎決意したる所以に外ならず候、御承知の通り翁は少壯夙に國家の選良として政界に馳聘し故犬養總裁其他中央名士中に莫逆刎頸の交情を結べるもの二三にして止まらざる寔に全國的老政客にして清節重厚苟もせざる人格と高邁卓拔なる學識經綸とは吾人の代表として正に間然する處無く斷じて黨の内外に誇負して措かざる次第に有之候得共若し夫れ今回の選挙にして萬一敗地に塗るるが如き場合あらば我黨及地方民の不幸之に過ぐるものなきは勿論過般近く參事員たるべくして突如幽界に歸したる翁の後嗣故赤坂縣議をして永く泉下に瞑するを得ざらむる傷まじき結果と相成り候次第彼之深甚なる御支援の下に芽出度當選翁をして地方自治の爲渾身の力を致さしめらるる様御同情を相仰ぎ度特に貴下の御仁俠に懇へ惻願至囑此事に有之候

外號

赤坂龜次郎氏を縣會議員候補者として最適任と認め茲に推薦して極力當選を期す

昭和八年八月

石城政友部會

責任者 平町三丁目三 山田忠太郎

從來政治家は徹頭徹尾黨本意黨略本意より割出し此れを第一とし國家國民を第二とせしやの非難あり蓋し國民に指導機關たるべき政黨の罪輕からざるものあると感ずる、要するに此度の選挙は逆さ

まながら、毅一君の弔戰として赤坂老先生を推薦したる人間味を深く諒察せられ極力當選せしむることに御同情相願度選挙民各位に紙上を以て懇願する處なり。

安島重三 佐藤成三 鈴木辰三 井上茂作 田井健吉

責任者 平町三丁目三 山田忠太郎

推薦狀

吾人の先輩 赤坂龜次郎先生を

縣會議員候補に推薦致し候處先生の抱負經倫は御承知の通り今更呶々を要せず然も現下の政局に鑑み人格崇高なる先生の如き高材逸足を縣政壇上に送る事は極めて適切なりと確信仕候間大多數を以つて當選の榮を得せしめられ候様各位の深甚なる御援助と御同情とを賜はり度特に御依頼申上候 敬具

昭和八年八月

平町會議員有志 (順バロイ)

井上茂作 石山治三郎 花澤久一郎 小野伊佐治 川崎文治 高橋龜松 多田井笑次郎 根本品藏

松崎長太郎 馬目武之助 會川延太郎 坂本隆藏 佐々木龍若 酒井清 關内正一 鈴木光吉

責任者 平町三丁目一〇 關内正一

推薦狀

人格の士 赤坂龜次郎君を

福島縣會議員候補者として最適任と認め推薦致し候間極力當選の榮冠を荷はしめられ候様各位の御支援を賜り度奉懇願候 敬具

昭和八年八月

政友會總裁 鈴木喜三郎

全幹事長 山口義一

顧問 床次竹二郎

全 久原房之助

全 山本悌次郎

犬養健

責任者 平町五丁目 井上茂作